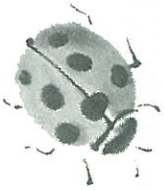


平安神宮に行つて

棚田 陽向

平安神宮に行く前、すごくドキドキしました。理由は居合がすごくうまい人の前でやると思ったら、「しっぱいしたらどうしよう。」「一人でもまちがったらめっちゃ目立ってしまう。」などたくさん考えました。

本番になると、居合をひろうする前、私といっしょぐらいの子たちがじゆう道みたいなのをひろうして、しかも黒おび、茶色おびの子がたくさんいました。平安神宮に行く前より、はるかに大きいプレッシャーになりました。居合をひろうする時、何本目をするかわすれそうになりました。少しとわりを見てあわせてしまいました。後から「しっぱいしてしまつた。」と思いました。でも、先生や、うまい人が「すごかつたな。」と、いつてくれました。いっきにその時、プレッシャーがなくなりました。その時に平安神宮に行つてよかつたな、と思います。次に行く時はドキドキしないで、むねをはつて、居合をひろうしたいです。



平成二十五年度 平安神宮奉納演武大会にて

武学館 中二 久保 智嗣

右腕を骨折したまま、ギブスでの参加ということで最初から「十分な技で演武ができるだろうか」という不安がありました。ただ奉納演武大会という趣旨の下、一生懸命に演武する姿を奉納しようと思ひ、自分なりに満足できる演武ができたと思ひます。大会には様々な武道の演武が披露され、始めてみる技に興味を持ちました。今回は少年部の演武がたくさんあり、これから少年部が活躍できる場が増えていくことにとてもうれしい気持ちになりました。奉納演武大会で異なる武道を見学することができ、自分達が学ぶ技とは違う世界を垣間見ることができ、本当に貴重な勉強の場となりました。

